

東胆振定住自立圏共生ビジョン変更概要

1 協定追加について

定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定書（案）

苫小牧市（以下「甲」という。）と厚真町（以下「乙」という。）は、平成27年3月24日に締結した定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定を次のとおり締結する。

別表第1(2)の表に次のように加える。

地域情報化の推進	取組の内容	圏域内における、各自治体の情報化を推進する。
	甲の役割	乙や関係機関と連携し、圏域内における自治体クラウド導入及び管理のため中心的な役割を担う。
	乙の役割	甲や関係機関と連携し、圏域内における自治体クラウド導入及び管理のため各種事業に取り組む。

上記のとおり苫小牧市と厚真町の協定の一部を変更し、自治体クラウド導入に向けた取組を進めます。

自治体により総合行政システムの契約年数や導入状況が異なりますので、安平・白老・むかわ町の自治体クラウド導入については各町と協議してまいります。

2 年次更新について

(1) 第1回ビジョン懇談会での意見について

- ① 避難所の広域的な展開 → KPIへ反映
- ② リサイクルに関する広域的な展開 → 要協議
- ③ 鳥獣被害への広域的な展開 → KPIへ反映
- ④ 観光担当者の広域的な展開 → 要協議

(2) 共生ビジョン策定後の人団変動の追加【6P】

(3) 平成27年度から平成31年度までの共生ビジョンの検証【7P】

(4) 将来像の修正【8P】

(5) KPIの変更

- ① (9) 鳥獣被害防止対策事業

変更前： 被害額

変更後： 情報交換回数

変更理由： 被害額は取組に対して必ず効果が出るものではなく、自然に大きく左右されるため、圏域で協力して取り組むことがわかる数値として情報交換回数へ変更する。

- ② (10) 防災体制の充実

変更前： 自主防災組織率

変更後： 圏域内会議等及び訓練回数

変更理由： 自主防災組織率の向上は必要だが、圏域の取組としては効果が図りにくいため、圏域内での会議等及び訓練回数に変更する。

- ③ (16) 広報連携による情報共有や情報発信

変更前： インターネットを活用した一体的な情報発信媒体数

変更後： インターネットを活用した情報発信回数

変更理由： 情報発信媒体数の目標は達成したため、媒体数の維持ではなく、情報発信回数をKPIに変更する。

(6) 事業内容の追加及び削除

- ① (6)事業名「圏域内文化の共有」を追加

- ② (8)事業概要へ「ふるさと納税制度において圏域内で共通の返礼品を取り扱う」旨を追加

- ③ (10)事業概要へ「復旧・復興へ向けた職員の派遣などの支援を行う。」を追加

- ④ (16)「nittan地域戦略会議」によるプロモーション活動およびイベント等の実施については団体の活動縮小により、削除

- ⑤ (17)協定追加に伴う「地域情報化の推進」を追加

(7) 関連事業費の更新【(19)～(26)】

過去5年間において、発生した事業の廃止や統合、事業名称の変更などを更新し、現状の関連事業費を記載しています。

(8) 具体的な取組（表）の削除

(2) 具体的な取組

I 生活機能の強化に係る政策分野				下線は新規・拡充の取組
分類	取組項目	事業名	具体的な取組	
(1) 医療	医療情報のネットワーク化	地域医療連携システム整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開病院（王子病院、市立病院）と医師会が協働し、「東胆振メディカルネット」の推進 	
	広域救急医療体制の充実及び病診連携	初期救急医療・広域医療体制の充実		
(2) 福祉	高齢者等の見守り SOS ネットワーク	SOS ネットワーク事業	<ul style="list-style-type: none"> ・徘徊症状等により所在不明となった高齢者等の捜索と保護 	
	障がい者等の生活支援拠点事業	障がい者等の生活支援拠点事業		
	在宅医療・介護連携推進事業の実施	在宅医療・介護連携推進事業		
(3) 教育	生涯学習機会の充実	生涯学習会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の適正な維持管理・運営事業 ・様々な文化活動の振興を推進 	
	図書館相互利用の促進	図書館（室）の相互連携の強化		
(4) 産業振興	地域ブランドの推進	地場産品のPRや産業振興に関する連携	<ul style="list-style-type: none"> ・各特産品のPR・補助事業 	
		東胆振地域ブランド創造協議会		
	鳥獣害防止事業の推進	鳥獣被害防止対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・東胆振の「食」「観光」「遊（レジャー）」の情報発信事業 ・スープなど開発商品のPR事業 ・産・官・学と連携した事業を展開 ・鳥獣被害防止対策事業の推進 	